



研究部HP 版

第1版 教育研究部 令和2年1月発行

(文責:細井)

～ 自立とは? ～

何回かに分け、講習に参加して見聞きしてきた、主に応用行動分析学的な視点での学習支援等に関わることをお伝えしていきたいと思います。

皆さんは「自立って何ですか?」と問われたときに、何と答えますか。どういったところに視点を置くかによって、様々な答え方ができると思いますが、ある先生はこうおっしゃっていました「自立とは合図に正しく反応すること」と。

1 作業服に着替えたら…

高等部のA君は、登校後スケジュールボードの着替えのカードを見て、1時間目から始まる作業学習に向け作業服に着替え始めました。小さめのボタンホックをはめることは苦手でしたが、いまでは一人でできるようになりました。そのA君、着替え終わった後に「かっこいいね」という言葉をよく口にします。最初は自分一人で着替えられたこと、または作業服姿になったことに対して、自分自身に向かって言っているものかと思っていました。しかし、「かっこいいね」は1回で終わらず、指導者に向かって繰り返され、そのうち何も言わない指導者に「ん、ん、ん」と催促するような言葉を口にしました。そこでようやく、指導者に「かっこいいね」と言ってもらいたいことがわかりました。



「一人で着替えられるようになったことはよいことだけれども、それはかっこいいとは違うと思うし、みんな作業服に着替える中、A君だけ特別作業服姿が似合っていてかっこいいというわけでもない」と思ったので、あえてA君の要求には応えず席に着くように促すと、要求はますます強くなり、次の行動に移るどころか、怒り出してしまいました。

別の日に着替え終わった後、A君はいつものように「かっこいいね」と口にしました。この時は、すぐに「かっこいいね」と応じてあげると、A君はにこやかにスケジュールボードへ向かい、着替えのカードを取り外し、朝の会のカードを取り付けることができました。

2 合図と反応

さて、先の話の中での「合図」とは何でしょうか。「着替え終わる」が合図となります。では、「正しく反応すること」とは何でしょうか。A君が行った「スケジュールボードの貼り替え」であったり、または「作業学習に必要なものを準備」したり、「朝の会に向けて着席」して待っていたりすることが「着替え終わる」という合図に対する正しい反応となります。「かっこいいね」と口にし、それを指導者に言ってもらえるまで次の行動に移れなかったA君は、正しく反応できていないこととなります。



私たちの周りには様々な「合図」があります。のどの渇きという合図や、赤信号という合図など、自然な事象の合図や他者等から発せられる応答の合図です。のどの渇きに対しては、水分を自分で補給したり他者に要求したり、赤信号に対しては車を停車させることが正しい反応となります。

では、A君の「かっこいいね」と言われるまで次の行動に移れないのと同じように、スクールバスが学校に到着したのに下車しようとしない、起立と言われても立たない時など、正しく反応できていない場合は、どのようにしていけばよいのでしょうか。【次月発行第2版に続く】

参考：PECS トレーニングマニュアル第2版

カット：Pics for PECS 第15版（掲載許諾済み）